

## RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージのご使用上のお願い

RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ CC-RLの使用上の注意事項を連絡します。

- 条件アセンブル制御命令後に外部ラベルを定義した場合の注意事項 (CCRL#006)  
注: 注意事項の後ろの番号は、注意事項の識別番号です。

### 1. 該当製品

CC-RL V1.01.00~V1.02.00

### 2. 内容

アセンブリソース上において、初期値なしデータ領域用セクション内に条件アセンブル制御命令を使用した場合に、その後に定義した外部ラベルのアドレスが不正になる場合があります。

### 3. 発生条件

以下(1)~(3)の全てを満たす場合に発生します。

- (1) 初期値なしデータ領域用セクション内(注1)で条件アセンブル制御命令(注2)を使用している。
- (2) (1)のセクション内の(1)の条件アセンブル制御命令より下の行で、  
.publicまたは.extern疑似命令により外部宣言したラベルを定義している。
- (3) (2)のラベル定義と同一行に.ds 疑似命令を使用してメモリ領域を確保している。

注1: bss, sbss, bssf属性セクション

注2: \$ifdef, \$ifndef, \$if, \$ifn, \$elseif, \$elseifn, \$else, \$endif

発生条件例:

-----

```
.public label1
.public label2
```

```
.section .bss, bss
label0: .ds (10)
$if 1 ; 発生条件(1): .bssセクション内で$ifを使用
label1: .ds (4) ; 発生条件(2)(3): .public疑似命令により外部
; 宣言したlabel1を定義、同一行に.ds 疑似命令
; を使用して4byte領域を確保

label2:
.ds (4)
$endif
```

-----

上記の発生条件例では、label1が本注意事項に該当します。  
label0からlabel1の正しいオフセットは10byteですが、  
条件アセンブル制御命令を1byteのオフセットとして誤って計算してしまい、  
10+1=11byteのオフセットになります。  
label2は発生条件(3)に該当しないため、label0からのオフセットは正しい値の  
14byteになります。

#### 4. 回避策

.ds 疑似命令をラベルの次の行に記述してください。

回避策の適用例:

-----

```
...
label1:
.ds (4) ; ラベルlabel1の次の行で.ds疑似命令を記述
...
```

-----

#### 5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。  
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。